

第1学年 保健体育科 学習指導案

日時 平成18年10月10日(火)

場所 北上市立東陵中学校体育館

生徒 1年A・B組 女子33名

指導者 教諭 高橋 勝彦

1 単元名 球技「バスケットボール」

2 単元について

(1) 教材観

球技はボールを媒介として、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームの課題や自己の能力に適した課題の解決に取り組んだり、ゲームを楽しんだりする運動である。

バスケットボールは、2つのチームがコート内で入り乱れながら相互に攻撃と防御に分かれ、ドリブルやパスなどの個人技能やフォーメーションなどの集団技能及び戦術を駆使し、一定時間内で得点を競い合うゴール型の運動である。

バスケットボールは、攻防の切り替えが早いので、運動量も多く、ボールコントロールや瞬時に変化する場面に応じた判断力を高めることに適した教材である。また、パスやドリブル、シュートができた時や作戦がうまくいった時、チームのみんなの力が結集されて勝利した時に喜びを感じることができ、練習やゲームを通して、役割を分担し励まし合ったり認め合ったりと運動の楽しさを味わわせながら責任感や協調性を高めるのに適した教材である。

(2) 生徒観

1学年の女子は、運動することが好きな生徒が多く、体育の授業に意欲的に参加している。バスケットボールに関する事前アンケートでは、「バスケットボールが好き」と答えた生徒が21名と、バスケットボールに対する関心の高い生徒が多い。

運動の基本である「走る」ことを重視し、体育授業の準備運動や日高見学習(体力づくりの活動)で体力向上の取り組みを行っている。1年生の女子は、今年度実施した体力テストの結果では、Aランクの生徒が17名と、全身持久力を除いた項目で高得点をあげた生徒が多かった。

バスケットボールに関する技能については、小学校でミニバスケットボールを経験している生徒とそうでない生徒との差が大きい。

2学期になってからは、活動中に安易に相手をからかうような言葉をかける様子が見られたことがあった。バスケットボールの授業を通し、運動能力を高めるとともに、チームでの練習やゲームを通して、相手を思いやる気持ちも高まるよう支援したい。

(3) 指導観

本単元では、課題練習(ゲーム)やチーム毎の話し合い(作戦)などを通して理解した、ボールを持っていない時の動き方を工夫してゲームを楽しむことをねらいとしている。

そのためには、指導の手立てとして、以下のことを取り上げていきたい。

1年生段階であることを考慮し、パスを中心に基本技能を丁寧に扱うとともに、「素早い判断で動く」事ができるよう、スクエアパス練習を継続する。

ボールを持っていない時の動き方を理解させるために、課題練習(ゲーム)という形でミニゲームを行う。単元の前半は、3:2の課題練習(ゲーム)を通してボールキープに重点を置きながらスペースの見つけ方を工夫させたい。単元の後半は、特別ルールでのゲームを通して、少ないパスでの素早い攻撃の仕方を工夫させたい。

チームは技能の高い選手をバランス良く配置しながら、8チーム編成する。ハーフコートでの課題練習(ゲーム)などをテンポ良く行わせ、運動量を確保する。

仲間の努力やプレイを認めるという意識を大切にするために、教師自ら生徒一人一人の良かった点をほめたり励ましたりする。また生徒が互いに評価し合える場面を設定する。

(学習記録カードなど)

3 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・自己の役割に責任をもって行動しながら、バスケットボールの特性に触れ、その楽しさ・喜びを味わいながら練習やゲームに進んで取り組もうとする。

【思考・判断】

- ・自分やチームの課題の解決を目指して、作戦を立てたり、練習の仕方を工夫したり、ゲームの中での動き方を工夫したりしている。

【技能】

- ・人やボールの動きに合わせてパスを受けたり出したり、少ないパスで素早い攻撃をしたりすることができる。

【知識・理解】

- ・バスケットボールの特性やルール、審判の方法、サポートプレイの必要性を理解している。

4 単元の指導計画と評価規準（12時間）

	時	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
1 オリエンテーション 「学習の進め方」	1 2	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習内容や課題、授業の進め方や約束などの確認 バスケットボールの特性についての理解 ゲームの進め方や審判の方法などの理解 	<ul style="list-style-type: none"> バスケットボールの特性や学習の進め方に関心を持ち、見通しを持って進んで取り組もうとする。 			<ul style="list-style-type: none"> バスケットボールの特性や学び方、技術の構造などを理解している。 ゲームの進め方や審判の方法などを理解している。 バスケットボールの用語を理解している。
	2 ねらい1 「サポートプレイに着目した課題ゲーム」	3	<ul style="list-style-type: none"> 動きながらのパスキャッチの仕方（スクエアパス） 	<ul style="list-style-type: none"> 動きながらのパスキャッチが確実にできるように、協力し、進んで課題練習に取り組もうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 動いている味方にキャッチしやすいパスを出したり、動きながらパスをキャッチしたりすることができる。
4		<ul style="list-style-type: none"> 動きながらのパスキャッチの仕方（スクエアパス） ボールキープの仕方（ピンポイントパス） 	<ul style="list-style-type: none"> ボールキープが確実にできるように、協力し、進んで課題練習に取り組もうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ボールを持っていない時に、空いている場所（ポイント）を見つけて動くことができる。 	
5 （本時）		<ul style="list-style-type: none"> ボールキープの仕方（ピンポイントパス） スペースの見つけ方（ハーフコート3:2） 	<ul style="list-style-type: none"> ボールをつないで攻撃できるように、協力し、進んで課題練習（ゲーム）に取り組もうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ボールを持っていない時に、空いている場所（ポイント）に動いて、ボールをつなぐことができる。 	
6		<ul style="list-style-type: none"> ボールキープの仕方（ピンポイントパス） スペースの見つけ方（ハーフコート 3:2） 	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題を解決しようと協力し、話し合いやチーム練習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーの特徴を生かして、ボールをつなぐための動き方を考えたり、練習の仕方を工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> サポートプレイの必要性について理解している。 	
3 ねらい2 「速攻に着目した課題ゲーム」	7	<ul style="list-style-type: none"> スペースの見つけ方（ハーフコート 3:2） ノーマークの作り出し方（ハーフコート時間差） 	<ul style="list-style-type: none"> ノーマークの状況を作り出せるよう、協力し、進んで課題練習（ゲーム）に取り組もうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> ボールを持っていない時に、空いている場所に動いて、ノーマークの状況を作ることができる。 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> ノーマークの作り出し方（ハーフコート時間差） 少ないパスでの素早い攻撃の仕方（オルコート特別ルール） 	<ul style="list-style-type: none"> 少ないパスでシュートまで持っていくことができるよう、協力し、進んで課題練習（ゲーム）に取り組もうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 空いている場所に動いて、ノーマークの状況を作り、少ないパスでシュートまで持っていくことができる。 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ノーマークの作り出し方 	<ul style="list-style-type: none"> チームの課題に向かって、協力し、 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーの特徴を生かして、少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 相手との攻防で、かわしたり、ポジ 	<ul style="list-style-type: none"> 速攻が有効な攻撃であることを理解して

		(ハーフコート時間差) ・少ないパスでの素早い攻撃の仕方 (オールコート特別ルール)	話し合いやチーム練習に取り組もうとする。	パスでの素早い攻撃の仕方を考えたり、練習の工夫を工夫したりしている。	ショニングをしたりすることができる。	いる。
4 対抗戦「」の振り返り	10 12	・審判や役割を分担し、これまでの学習を活かしてのチーム対抗戦 ・単元の学習の振り返り	・ルールを守り、審判の判定や指示に従い、話し合いやチーム練習に取り組もうとする。 ・練習やゲームへの取り組み方や、技術向上などについて進んで振り返ろうとする。	・チームや個人の課題の解決をめざして、作戦を立てたり、ボールを持っていない時の動き方を工夫したりしている。	・ボールを持っていない時の動き方を身につけ、作戦を活かした攻防を展開してゲームができる ・基礎的な技能をゲームに活かすことができる。	・ルール、審判の方法を理解している。

5 学習過程

区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
0 50 (分)	刈エーション ・単元の学習内容や課題 ・授業の進め方・約束事 ・バスケットボールの特性 ・ゲームの進め方や審判の方法	集合・あいさつ ・課題ゲーム 動きながらのバスケットボールキャッチ	・課題ゲーム 動きながらのバスケットボールキャッチ ・課題ゲーム ポールキープの仕方	・課題ゲーム ポールキープの仕方 ・課題ゲーム スペースの見つけ方	準備運動、ドリル ・課題ゲーム ポールキープの仕方 ・課題ゲーム スペースの見つけ方	学習内容の確認 ・課題ゲーム スペースの見つけ方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方	学習内容の確認 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方 ・課題ゲーム ノーマークの作り出し方
			反省・評価			次時のねらいの確認						単元の学習の振り返り	

6 本時の指導

(1) 目標

仲間と協力し、課題解決に向けて教え合い励まし合いながら、課題練習(ゲーム)に取り組もうとする。

サポートプレイの大切さを理解し、ボールを持っていない時の動き方を身につけることができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価の観点	具体的評価規準		
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
関心・意欲・態度	・ボールをつないで攻撃できるよう、動き方を考え、アドバイスしたり、動き方を認めたりし、率先して課題練習(ゲーム)に取り組もうとする。	・ボールをつないで攻撃できるよう、チームの仲間と協力し、進んで課題練習(ゲーム)に取り組もうとする。	・動き方や練習・ゲーム内での役割の果たし方の良さなどを具体的に紹介したり、一人一人の頑張りを認めたりする。
技能	・ボールを持っていない時に、人やボールの動きに合わせてパスがもらえる場所を瞬時に判断し、素早く移動してボールを確実につなぐことができる。	・ボールを持っていない時に、空いている場所に動いて、ボールをつなぐことができる。	・人やボールの動きに合わせてパスがもらえる場所や走るコース、パスの受け方などを具体的に指導する。

(3) 本時の展開

段階	学習活動および内容	教師の指導・支援	評価・備考
導入 (10分)	1 集合・あいさつ 2 準備運動、ドリル 3 学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・元氣よく挨拶させる。 ・健康観察、安全確認。 ・リーダーを中心にしっかりアップをさせる。 ・サポートの重要性を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 音楽活用 * トレーニング用具の準備
相手のいない所に動いて、味方からのボールをつなげよう。			
展開 (35分)	4 課題ゲーム 3対2ピンポイントパスゲーム * ボールキープの仕方 5 課題ゲームの振り返りと課題ゲームの確認 6 課題ゲーム 3対2ハーフコートゲーム (ドリブルなし、2分間6セット) * スペースのを見つけ方	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの課題を確認させ、1ゲーム1分間で6セット(攻守交代で3セットごと)行う。 ・ボールキープの仕方の振り返りとスペースのを見つけ方に向けてのポイントを確認させる。 ・ルールを確認(ドリブルなし、ゲームの再スタート、時間など)させる。 ・巡回しながらプレーの評価を行う。 ・チームの課題や作戦を意識させ、助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> (関心・意欲・態度) ・チームの仲間と協力し、進んで課題練習(ゲーム)に取り組もうとしているか。(観察) (技能) ・ボールを持っていない時に、空いている場所(ポイント)を見つけて動いているか。(観察) (技能) ・ボールを持っていない時に、空いている場所(スペース)に動いてボールをつないでいるか。(観察)
終末 (5分)	7 整理運動 8 学習のまとめ 9 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの有無を確認する。 ・ボールキープの仕方やスペースのを見つけ方についてのまとめをする。 ・元氣よく挨拶させる。 	<ul style="list-style-type: none"> (関心・意欲・態度) ・協力し、課題練習に取り組めたか。(学習カード) (技能) (学習カード)

保健体育アンケート・・・バスケットボールの授業に向けての事前調査

*当てはまる欄に を入れてください。 (1年 組 男・女)

質 問 項 目	はい	いいえ	その他
Q 1 体育(教科)は好きですか。			
Q 2 球技は好きですか。			
Q 3 バスケットボールは好きですか。			
Q 4 「好き」の人 バスケットボールのどんな所が好きですか？			
Q 5 「好きではない」の人 それはなぜですか？			

保健体育アンケート・・・バスケットボールの授業に向けての事前調査

*当てはまる欄に を入れてください。 (1年 組 男・女)

質 問 項 目	はい	いいえ	その他
Q 1 体育(教科)は好きですか。			
Q 2 球技は好きですか。			
Q 3 バスケットボールは好きですか。			
Q 4 「好き」の人 バスケットボールのどんな点が好きですか？			
Q 5 「好きではない」の人 それはなぜですか？			

Basketball 個人学習カード

1年	組	番	グループ名	氏名
----	---	---	-------	----

【自己評価の観点】・・・・・・・・ A：十分達成できた B：達成できた C：達成できなかった D：まったく達成できなかった
 チームで協力し、進んで準備や練習ゲームをしよう。
 作戦を立てたり、練習の仕方を工夫したり、ゲームの中で動き方を工夫したりしよう。
 人やボールの動きに合わせて、パスを受けたり、出したりしよう。

時	月日	学習内容	自己評価	今日の反省	今日のMVP(仲間の評価;輝いていた人)
1		・オリエンテーション			
2		・オリエンテーション			
3		・動きながらのパスキ ャッチの仕方			
4		・動きながらのパスキ ャッチの仕方			
5		・ボールキープの仕方			
		・スペースの見つけ方			
6		・ボールキープの仕方			
		・スペースの見つけ方			
7		・スペースの見つけ方			
		・ノーマークの作り出 し方			
8		・ノーマークの作り出し方			
		・少ないパスでの素早 い攻撃の仕方			
9		・ノーマークの作り出し方			
		・少ないパスでの素早 い攻撃の仕方			
10		・役割分担し、これま での学習を活かして のゲーム			
		・役割分担し、これま での学習を活かして のゲーム			
12		・これまでの学習を活 かしてのゲーム			
		・学習の振り返り			